



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／新川 裕二 鳥取県教育委員会中部教育局生涯学習推進係長
緒方 友希 熊本県宇城市立小川小学校 教諭

分科会の進め方

10:45～10:50

1 「女子商マルシェ」36企業的女子商支店・出逢い、ふれあい、地域愛—福岡女子商が「市場」に変わる— 10:50～11:20

岡野 利哉（福岡県那珂川町立福岡女子商業高等学校商業科 教諭）

大目標はビジネスの理解と起業家精神の育成。マルシェ（市場）は商業教育の集大成と地域とのコミュニケーションを活性化するステージとして創造した。具体的な学習目標は、生徒のあいさつから身だしなみまでの社会性、行動における主体性と責任感、商品管理・販売業務の実務的能力等の向上においている。評価はプロと同じく「売り上げ」と「集客数」で行なう。生徒が挑戦し、学校が挑戦し、企業が受けて立った総合的商ビジネス・インターンシップの実験である。

2 ヤンボラ高校生の地域貢献と活動メッセージの発信—えひめヤングボランティア支援事業の構想と展開— 11:25～11:55

窪田のぞみ（愛媛大学附属高等学校2年 ヤングボランティアスタッフ）
久保 宏樹（愛媛県教育委員会生涯学習課）

学校外での自主的なボランティア活動を支援するため、平成19年度より「ヤングボランティア・センター」を県立美術館内に設置し、支援スタッフを配置している。センターの目的は、高校生を中心とした若者が、会議、研修、活動の企画・立案・実施までを主体的に担当して、地域活動を体験的に学ぶ事である。これまでの活動例には、「ヤンボラ エコ・ウォーク」、「『えひめこどもの城』における昔遊び指導」などがある。プログラムの展開と情報の発信の副次的効果として県内高校生の交流範囲が拡大し、新規活動者の確保に繋がっている。

3 民間コーディネーターを活用した産学官連携による小・中・高キャリア教育事業の実践と課題 12:00～12:30

横尾 敏史（佐賀市 NPO法人鳳雛塾 事務局長【佐賀銀行人事企画部付外向】）

地域内の企業と小中高校が連携してキャリア教育を展開して10年の歴史を有している。少年期から多くの職業人との出会いを演出し、起業家精神旺盛な人材を育成し、健全な職業観を形成することを目的とし、産業界が教育活動に参加する仕組みを構築した。主催は「鳳雛塾」、共催者は佐賀市、佐賀市教育委員会で、体験活動を含む体系的なカリキュラムを開発し、延べ授業時間数1,700時間以上、対象児童数4,500人を超え、県内350以上の産学官の組織体が事業に協力している。